

## 教えて考えさせる授業 構想シート

教 科	国語科	学 年	2年	指導者	
授業日	( 10 ) 月 ( 6 ) 日 ( 火 ) 曜日				

習得型の授業における「主体的・対話的で深い学び」⇒「学習者基点の能動的な深い学び」

【单元名】	伝統文化を楽しむ
-------	----------

<b>【本時の目標】</b> 本時 ( 5 / 8 )	返り点のきまりに気づき，訓読しよう。
<b>【めざす子どもの姿】</b>	返り点のきまりにしたがい，訓読したり送り仮名を補ったりできる。
<b>【困難度査定】</b> (つまずきのポイント)	返り点に気づけるが，正しい語順に並べかえることが難しい。
<b>【指導上の工夫】</b> (つまずきに対する手立て)	正しく並べ替えをすれば，意味の分かる言葉になるような小テストをして関心を持たせたり，返り点を使って言葉の並べ替えをするとき，漢字の音読みなど漢和辞典を使って調べられるように準備しておく。

<b>予習 (家庭学習等)</b>  本時の学びにどんな課題を持って授業に臨ませたいか ※教科書を読んでくる程度でも良い	○ 1 年の時の故事成語で返り点や古文を読んで歴史的仮名遣いの復習をしてくる。
<b>教える内容 ( 10 分)</b>  確実に教えたい内容・確実に理解させたい内容を書く ※前時までの確認ではないことに留意する	① 訓読するときの読み方の順序を知り，そのきまりにしたがった読み方を理解する。  ② 漢詩の形式ときまりを理解する。
<b>理解確認課題 ( 15 分)</b>  えた内容が分かったかどうかを確認するための学習内容及び方法 ※ペアで説明し合う活動	※ほぼ全員が達成できることを目標にする内容 ○ 教科書の漢詩を読んで確認する。
<b>理解深化課題 ( 15 分)</b>  学習した内容を使って深めたり発展させたりして教えたことを定着させるための学習内容及び方法 ※グループで説明し合う活動	※グループ活動の活用を通して最終的に80%が説明できる程度の内容 ① 返り点の種類が違うものが組み合わさった問題でも読める。  ② 自分の好きな言葉を漢字だけで表し，並べ替え問題を作れる。
<b>自己評価 ( 5 分)</b>  振り返りで子供たちに記入させたい文章のイメージ	※何が分かって (できて)，何が分からなかった (できなかった) のかを記述させる ○ 振り返りシートに記入させる。 ・ 返り点のきまりと漢詩の形式を覚えることができた。 ・ 並べ替え問題を作るのは難しかった。 ・ 返り点のきまりにしたがって読むことができた。